



# 図書館の窓

2006.10

## 知っていますか？ UT Repository

東京大学の“知”  
世界に発信

電子的形態で収集・保存・発信

東京大学  
学術機関リポジトリ

自由な利用



一般利用者



学内研究者

登録

附属図書館  
情報基盤センター

登録支援／システム運用管理



## 東京大学 学術機関リポジトリ～UT Repository～とは

東京大学で生産されたさまざまな研究成果を電子的な形態で集中的に蓄積・保存し、学内外に公開することを目的としたインターネット上の発信拠点です。

研究成果は、学術雑誌論文をはじめ、学位論文、紀要に掲載された論文など、さまざまな形で発表・公開されています。また、学会発表、各種研修会、授業などで用いられた資料なども研究成果を表現したものと考えることができます。

こうした“研究成果”を簡便かつ迅速に公開する手段として、いま学術機関リポジトリは注目されています。

現在、附属図書館と情報基盤センターでは、各部局の協力のもと、さまざまな研究成果の収集と、それらのUT Repositoryへの登録を進めています。

### UT Repositoryで情報検索

UT Repositoryでは、東京大学の学術研究成果（コンテンツ）を、キーワードや著者名などにより検索することができます。また、資料タイプ別（学術雑誌論文、紀要、プレプリントなど）あるいは部局（研究科・学部）別のブラウジングなども可能です。

### UT Repositoryを利用してみよう

URL <http://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>

あるいは、Googleなどで「UTリポジトリ」と検索してみてください。

附属図書館と情報基盤センターでは、2006年4月に「東京大学学術機関リポジトリ(UT Repository)」を公開し、サービスを開始しました。

The screenshot shows the homepage of the UT Repository. At the top, there's a search bar with the placeholder "検索" (Search). Below the search bar, there are several sections: "UT Repositoryの検索" (Search), "メニュー" (Menu) with links like HOME, UT Repositoryの概要, 学内登録の方法等, FAQ, お問い合わせ, and リンク; "関連リンク" (Related Links) with links to the University of Tokyo homepage, the Library, the Information Center, and the Graduate School of Engineering; "日本語" (Japanese) and "English" language selection buttons; and "東京大学" (The University of Tokyo) logo. The main content area features a large image of a building and various search filters and results for different types of documents like "学術雑誌論文" (Academic Journal Papers) and "学位論文" (Theses).

UTリポジトリ

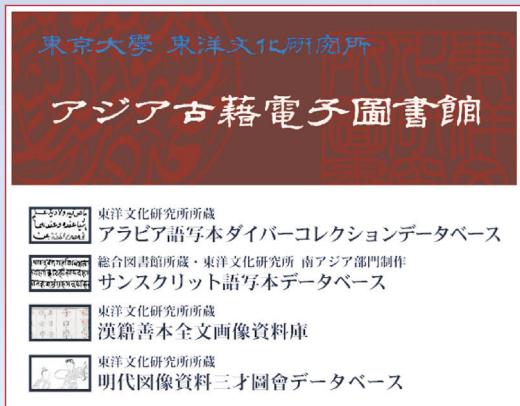
検索

## 「アジア古籍電子図書館」を公開しました

東洋文化研究所では、アジア古籍全文データベースのゲートウェイとして「アジア古籍電子図書館」を2006年4月から公開し、現在さらにコンテンツを増やす準備をしています。

「アラビア語写本ダイバーコレクション」(153点)、「サンスクリット語写本データベース」(518点)、「漢籍善本文全文画像資料庫」(566点)、「明代図像資料三才圖會データベース」など貴重なコンテンツが含まれています。どうぞご利用ください。

<http://imglib.ioc.u-tokyo.ac.jp/>  
(あるいは「アジア 電子図書館」で検索してください)



## オープンキャンパス2006

今年度のオープンキャンパスは、8月1日に本郷キャンパス、翌2日に駒場キャンパスで開催され、総合図書館と駒場図書館にも多くの高校生が訪れました。

総合図書館は臨時休館とし、見学を自由に楽しんでもらいました。見学者数は2775名にのぼり、「建物が素晴らしい、歴史を感じた」「本の多さに驚いた」などの感想とともに、展示「東京大学とお雇い外国人」も好評でした。

一方、駒場図書館は通常どおり開館し、普段の図書館を身近に感じてもらいました。見学者数は767名で、ジュニアTAによる館内案内ツアーを10分間隔で行うなど、学生と高校生の交流の場ともなっていました。



PDF版：<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/kanpo/>

図書館の窓 Vol.45 No.2 (通号427号) 2006年10月20日発行 発行人：笹川郁夫 編集：附属図書館広報委員会  
東京大学附属図書館発行 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話03(5841)2612 e-mail kikaku@lib.u-tokyo.ac.jp

## MyLibraryサービスがスタートしました

附属図書館が提供するオンライン・サービスや、よく使うWeb上の情報資源をまとめて整理・活用できる自分専用のポータルサイト、「MyLibrary」がスタートしました。新着図書のお知らせや、学内外のOPACを横断的に検索できる機能などもあります。

- MyLibraryを利用できるのは、東京大学の構成員（教職員・学生等）で、「利用者コード」と「パスワード」をお持ちの方です。
- MyLibraryへのログインページ、および詳細な利用方法・機能等については、  
<https://libsv.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/mylibrary/>  
をご覧ください。



## 秋の特別展示と記念講演会のお知らせ

今年度の特別展示は、附属図書館が所蔵する「南葵文庫」（紀州徳川家旧蔵書）のなかから、江戸時代の科学技術史、とりわけ具体的な「モノづくり」に焦点をあてて開催します。

### 【特別展示】

「知の職人たち 一南葵文庫に見る江戸のモノづくり」

日時：平成18年11月1日（水）～11月30日（木）

9時～19時

土・日・祝日も開催（ただし11月16日のみ休館日のため見学不可です）

場所：総合図書館3階ロビー ※入場無料

### 【記念講演会】

「吉宗と東大 一南葵文庫に見る知の職人たち」

日時：平成18年11月7日（火） 18時～20時

場所：総合図書館3階大会議室 ※入場無料、申込不要

講師：佐藤賢一電気通信大学助教授

お問い合わせ先：東京大学附属図書館  
情報サービス課専門員  
Tel:03-5841-2640

### 編集室より

★『図書館の窓』は、図書館の提供するサービスやイベントなどの情報を、皆さんのお手元に届けるニュースレターです。学内の各図書館・図書室などで配布しています。

★皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

附属図書館ホームページ：<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>